

数字で短歌をつくらう

1, 2, 3の数字を使って数字短歌をつくります。
短歌の「しらべ」を感じるユニークな創作短歌
に挑戦してみませんか。

日時：7月17日（月・祝）

14:00～16:00（受付13:00～）

講師：田中庸介（詩人）

対象：小学生以上、定員：15名

場所：創作アトリエ

料金：無料

申し込み：電話での受付（7月5日10:00から受付開始。先着順）

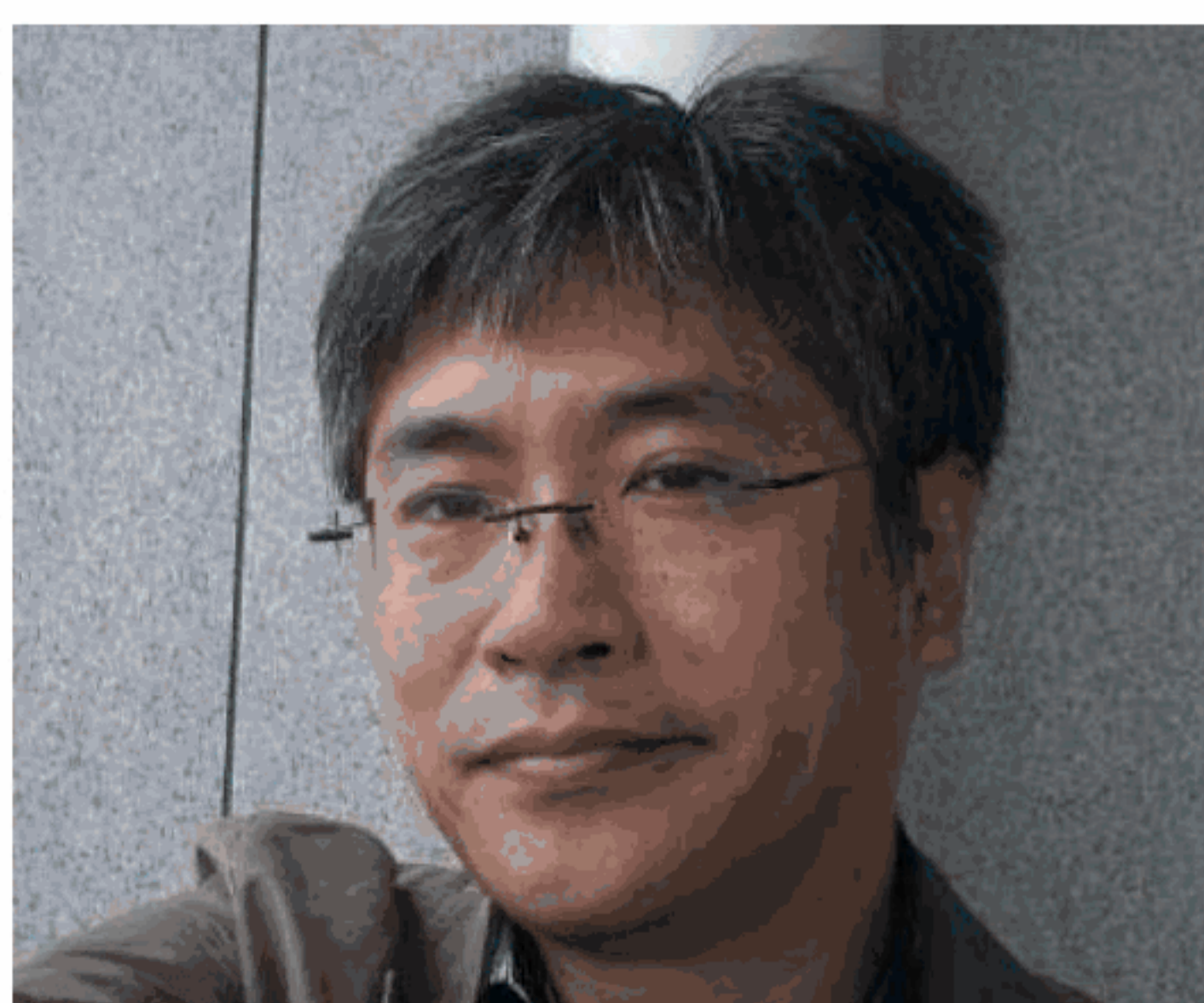
Tel 044-900-9898（川崎市岡本太郎美術館）

その他：当日までに1,2,3の数字を使った短歌を2首作ってきて
ください。（詳細はお申込みの際にお知らせします）

◎数字短歌ってなに？

五、七、五、七、七の短歌を、数字の1, 2, 3だけで書いた短歌です。

（例）11311 3311333 33113 2222233 3333112



〔講師プロフィール〕

田中庸介（詩人）

東京出身。詩人・細胞生物学者。1989年に「ユリイカの新人」、同年より詩誌「妃 kasaki」を編集。詩集に『山が見える日に、』（思潮社／第5回中原中也賞候補作）、『スウィートな群青の夢』（未知谷）。「場所の移動」をライフワークに、ありとあらゆる境界を突き抜ける方法を模索。さらにアーティストとのコラボレーションなど、詩の領域を広げる活動を展開している。